

ギリシヤとはちがう！

日本は国債破綻しません

デフォルト

- **ギリシヤ**はユーロ建て国債で、外国人の債権者が**7割**(利払いの金が外国に流れ出して国力が低下)
 - ギリシヤ政府はユーロを発行できない → デフォルトの可能性はある
- **日本**は日本円建て国債、外国人債権者は**6.69%**(ほとんどが国内だけの貸し借りで、**金額が多くても国力は衰えない**)
 - 日本政府は日本銀行に日本円を刷らせることができる → **デフォルトは不可能**

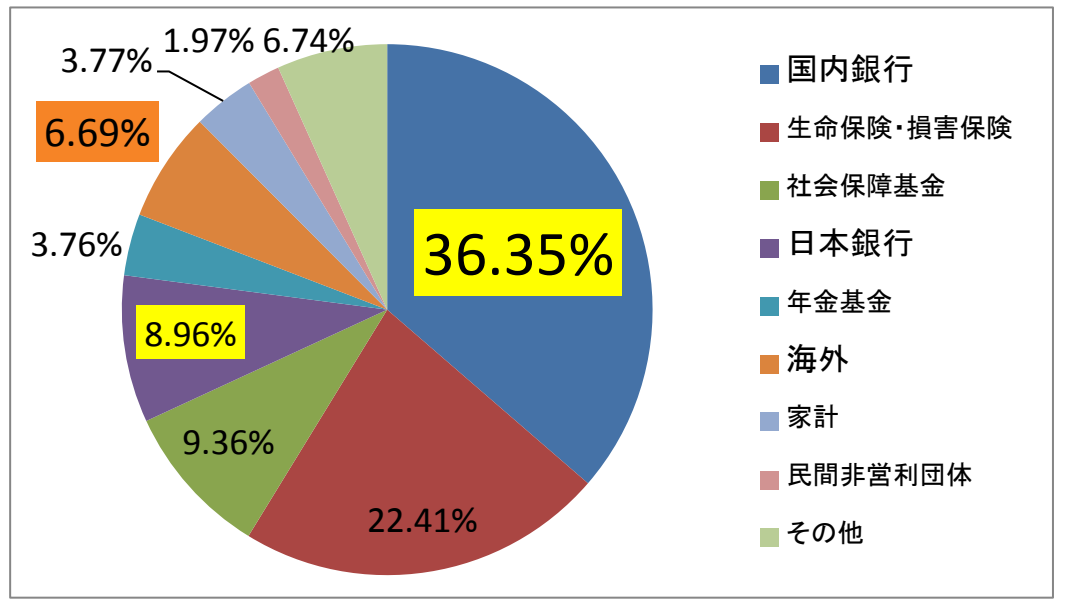
また、下のグラフにあるように、日本国債を一番持っているのは国内銀行で、銀行は私たち国民が預けているお金で国債を買っているわけです。つまり、**日本政府は日本国民から一番たくさんお金を借りている**、ということです

残りの項目は「海外」を除けば、私たち国民が預けている預金や保険料などで、日本銀行も8.96%国債を所有しています。日本銀行の分は政府が所有しているのと同じ意味です

新聞などでは、「**国民ひとり当たり数百万円の借金**」などの表現が使われていますが、
実際は「**日本国民が間接的に日本政府に貸している**」わけです

ところで、先進七カ国、いわゆるG7諸国の政府の公的債務残高の伸びを比較すると(出典:IMF)、1980年と比べて、2008年時点でフランスとイタリアで14倍
日本、アメリカ、ドイツ、イギリス、カナダで7~8倍に増えていて
長期的にみると、どの国も借金は増え続けています
この程度の借金の増加では国は破綻しません

2011年末時点 日本国債所有者別内訳(総額:755兆円)



情報ソース:日本銀行「資金循環統計」